

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
平成 27 年度 第 2 回評議員会議事録

日 時 平成 28 年 1 月 10 日 (日) 9:45~10:15
会 場 京都テルサ 3F 会議室
出 席 者 [現在数 10 名、定足数 6 名、出席者 6 名]
 國友政治、高林伸樹、西村伸次、福原 洋、山崎伊佐緒、山科隆雄
欠 席 者 荒巻隆三、一守益男、植田喜裕、長谷川綉二
参 席 者 理事長 荒巻禎一
 理事 八木 茂、大西孝雄、篠田恒夫
 監事 柳澤 傳 事務局長 奥村建治、
議 案 第 1 号議案 平成 28 年度 事業計画の承認の件
 第 2 号議案 平成 28 年度 収支予算の承認の件
報 告 事 項 理事長、常務理事の職務執行状況
開 会 宣 言 八木常務理事より開会宣言。

挨 拶 荒巻禎一理事長よりご挨拶

- ◇ 昨今の社会経済情勢について少し所感を述べられた後、いじめ、虐待、犯罪の低年齢化、大人の規範意識の低下、父子・母子家庭問題等の社会問題の解決について、ボーイスカウト活動・教育法が貢献出来ると思われるので、スカウト数の減少等の恵まれない状況下、時代の趨勢に合ったスカウト活動を模索して、地域社会の教育力として再認知されることを期待したい。
- ◇ 昨年度は、京都ボーイスカウト 100 周年と世界ジャンボリーが山口県きらら浜で開催され、ボーイスカウト活動の一般社会への認識を高め、加盟員増強の千載一遇の機会が到来した。
- ◇ 特に外国スカウトとの国際交流を通じて、各民族は異なる文化や歴史を持ち、その多様性を実感し、許容するとともに、グローバル化とは、それぞれが理解し、認め合い、互いに尊重することであることをスカウトは体得出来たと思われる。
- ◇ 本日のメインの議案は、平成 28 年度本会の事業計画案及び予算計画案の審議。
それでは、定足数等の確認を行い審議に移って頂きたい。

[議 事 手 続]・評議員会定足数 6 名に対して、出席 6 名により、評議員会成立。

- ・ 議長については、評議員会において出席した評議員の中から山崎伊佐緒氏を選出した。
- ・ 議長は議事録署名人を次の通り任命した。 福原 洋氏、高林伸樹氏
- ・ 議長は議事録作成者を次の通り任命した。 八木 茂常務理事

[第 1 号議案] 平成 28 年度 事業計画の承認の件

[第 2 号議案] 平成 28 年度 収支予算の承認の件

◇議長は第1号議案「平成28年度事業計画の承認の件」と第2号議案「平成28年度収支予算承認の件」は、一括審議したいと出席役員一同に意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認された。

◇八木常務理事より、同議案につき、別紙事業計画書・収支予算書に基づき内容説明及び諮問がなされた。

昨年度は、日本ボーイスカウト京都連盟（以下「京都連盟」という）創立100周年、第23回世界スカウトジャンボリー開催と、画期となる大きな事業が展開された。ボーイスカウト運動の振興という点で、一般社会にどれだけ認知されたか、その成果として加盟員数増加に結びついたか、が次年度以降の率直な評価となる。

とくにジャンボリーは、過去2回の開催国であるイギリス、スウェーデンにおいて開催後、加盟員数がV字回復している。これらは開催前から、マーケティングの手法による綿密に練られた戦略の結果であり、これに相当する計画が日本連盟や京都連盟に見当たらない。早急に立案し成果が生まれる体制づくりを支援したい。

そのために従来の京都連盟行事への支援に加えて、京都連盟とともに加盟員増加のためのバックグラウンドを充実させる。

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業に関して

事業予算として1,300千円を見込んでおります。例年執行しています日本ボーイスカウト京都連盟の28年度事業費予算のうち、進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッションナー費、イベント費等に必要となる事業費に対して助成するものです。

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業について、

本振興会が所有する広河原野営場の維持管理費用として111千円予算化しています。

また、広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得または賃借を予定している件に関して、所有者との交渉を継続することと、購入または賃借条件等については、常務理事に一任して頂くように承諾を得たい。

(3) 青少年指導者養成のためのプログラム企画運営事業について

ボーイスカウト関係者（OB、指導者、保護者等）が、学校のPTA会長や、町内会長、社会福祉協議会の各種団体長などによって地域社会に貢献している例を発掘し、スカウト運動と地域との連携を考え、今後のあり方を探るために、座談会、またはシンポジウムを開催する。

ボーイスカウト関係者のみならず、一般の参加者も対象とし、青少年育成の指導者としての素養を涵養することを目的とした内容としたい。

予算的には、200千円を予定している。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動支援のための共催事業について
ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、国際協力プロジェクトの派遣等への
支援費用等の実施を予定している。

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業について

① ホームページの充実により、組織内外のコミュニケーションを促進する

- ・ 地域社会への京都ボーイスカウト活動の周知
- ・ 新規入団者の促進支援につながる広報活動
- ・ 振興会維持会員として支援の輪を広げる活動
- ・ 一般財団法人としての情報開示、コンプライアンスの確立の達成を目指す

② 加盟員増加「V字回復計画」を策定し、京都連盟に提案する。

③ 競合する他団体とのパートナーシップを築く
事業予算として700千円を見込んでいる。

以上で説明を終わります。ご審議の程、宜しくお願い致します。

◇議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。
以上を以って、議事、報告・意見・質問事項をすべて終了し、議長は閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証明するために、出席した議長及び議事録署名人は次のとおり
記名押印する。なお、軽易な文言の修正は、議長に委任する。

平成 28 年 1 月 10 日

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会

議 長

山 崎 伊 佐 緒 ㊞

議事録署名人

福 原 洋 ㊞

議事録署名人

高 林 伸 樹 ㊞

議事録作成者 一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会
常務理事 八木 茂